

- 佐倉市では、令和元年の台風15・19号の影響により、森林の風倒木や土砂崩れによる大規模停電、交通網の遮断といった甚大な被害を被ったことから、今後、同様の被害が発生しないよう、災害に強い森林づくりが課題となっている。
- このため、風倒被害が発生する可能性の高い森林の状況を把握するとともに、災害に強い森林となるような整備を進めていく取り組みを実施。

□ 事業内容

災害に強い森林整備

重要インフラ沿いにおける風倒木除去を中心とした、森林整備の優先度を含めた「森林状況調査結果報告書」を作成する。

【事業費】3,905千円（うち譲与税3,905千円）

【実績】市内南部地域（和田、弥富地区周辺）の森林15ヶ所の森林の状況を調査し、森林整備の緊急度が高い順にランク付けをした「森林環境状況調査報告書」を作成した。

□ 取組の背景

- ・令和元年の大型台風（強風）により、主要幹線道路沿いにある森林の風倒木による電線の切断（大規模停電）や、道路が遮断される被害が発生し、市民の方々の日常生活に支障を及ぼした。
- ・大型台風等による被害を繰り返さないよう、森林の状況把握や風倒の危険性の高い森林の整備を行う。



（被害を受ける危険性の高い森林）

③ 判定結果

計算結果は、調査箇所ごとの優先順位判定表4-3-1のとおりです。

表4-3-1 調査箇所ごとの優先順位（緊急度）判定表

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
樹高	3	2	3	2	3	3	4	3	2	3	3	4	2	3	1
形状比	2	2	3	3	3	3	3	2	1	3	2	4	3	2	1
電線までの距離	5	5	5	1	5	5	5	4	3	4	4	5	5	5	5
溝腐れ被害	2	3	1	1	1	1	2	2	1	2	1	2	0	0	1
台風被害	2	0	0	0	1	0	2	1	1	2	2	2	0	0	1
立木密度	2	1	1	2	3	2	3	2	1	1	2	3	3	1	3
合計	16	10	13	9	16	14	19	14	9	15	14	20	13	11	12
優先順位(緊急度)	4	3	4	3	4	4	5	4	3	4	4	5	4	3	3

優先順位1～5について5段階の評価とし、1～5に移行するごとに緊急度が高くなります。

（抽出箇所のランク(点数)付け）

□ 工夫・留意した点

- ・令和元年の台風により、甚大な被害を被った市内南部地区の国道及び県道、市道（重要インフラ沿い）に隣接する森林を調査対象箇所として選定。
- ・現地調査にあっては、森林の風倒被害対策の技術資料（千葉県農林水産部森林課）に基づき調査を実施。
- ・私有林が多いことから、現地調査の際は、森林内への立ち入りはせず、森林の外側から林況等を確認した結果をもとに、緊急度の高い順にランク付け。

□ 取組の効果

- ・本調査結果を活用しながら、森林の公益的機能を高め、市民の豊かな生活環境の創造を目指す。
- ・調査対象箇所として選定した森林には、溝腐れ被害が多く確認できたことから、優先順位（緊急度）の高い箇所から、災害に強い森林（被害の防止を目的とした）整備を、中長期的に進めていく。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：20,180千円	②私有林人工林面積（※1）：623ha	
③林野率（※1）：18.1%	④人口（※2）：168,743人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 佐倉市では、佐倉市民の森（以下「市民の森」）に整備されている散策路周辺に、風倒の恐れのあるナラ枯れ被害立木等が散見されることから、安全な市民の森・散策路の整備を進めていくことが課題となっている。
- このため、市民の森全体（散策路含む）の樹木の状態確認並びに危険箇所等の把握に努め、訪れる方々の安全確保に向けた森林整備を進めていく取り組みを実施。

事業内容

市民の森の森林整備

市民の散策路周辺のナラ枯れ被害等により、風倒の危険性がある樹木の伐採並びに処分を行う。

【事業費】968千円（うち譲与税968千円）

【実績】市民の森入り口周辺のナラ枯れ被害立木5本（落葉高木）の伐採並びに処分を行った。

取組の背景

- ・市民の森（敷地面積：179,356㎡）には、自由に散策できる散策路が整備されており、撮影ロケ地や自然学習の場として多くの方々に利用されている。
- ・散策路を含め市民の森には、ナラ枯れ被害等による風倒の恐れがある樹木が点在している。



（伐採前）



（伐採後）

工夫・留意した点

- ・隣接する旧増田家住宅（家屋並びに敷地内）や散策者等に、伐採した樹木や枝木等が落下しないよう、伐採手法等について受託業者との現地打ち合わせを念入りに実施。
- ・ナラ枯れ被害対策マニュアルや、専門的知識を有している造園業者からのアドバイスを参考に仕様書等を作成。

取組の効果

- ・旧増田家や散策に訪れた方々の、安全確保並びに風倒被害の未然防止を図ることができた。
- ・風通しや日当たりが良くなり、周辺樹木へのナラ枯れ被害の拡大防止が図られた。
- ・市民の森に市民が入り、安全に散策が出来るよう、また、森林環境教育や森林ボランティアの育成の場として活用しやすい環境となるよう、散策路を含め市民の森全体の整備に取り組んでいく。

基礎データ

①令和4年度譲与額：20,180千円	②私有林人工林面積（※1）：623ha	
③林野率（※1）：18.1%	④人口（※2）：168,743人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より